



玄海自然アート



かべかけ工作

活動内容	海浜や「玄海の家」敷地内に落ちている自然物を使って、作品を作ります。「玄海の家」での思い出を形にして残すことのできる活動です。海浜清掃などに関連付けて行うこともでき、拾ったものを作品に生かすこともできます。
------	---

対象	必要時間	活動人数	活動形態	
制限なし	1～3時間	制限なし	一斉	
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性	◎
各研修室	安全管理	通年	創意工夫	◎
			主体・計画	◎
			粘り強さ	
			協調・協働	
			人間関係	

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」の職員		
	事前	【打合】活動場所	【打合】活動場所		
		説明開始時間、準備物、貸出物等の確認			
		【準備】使用する装飾を松林・海浜等で拾っておく ※活動中に拾いに行ってもよい	【準備】工作中で使用する物品の用意		
活動	【集合】活動場所	【指導】活動上の指導を行う			
	①説明を聞く(10分)	・工作の説明、片付け			
	②自然物を集めに行く(活動前でも可) ※荒天時は持参推奨	・グルーガンの使用方法			
	③工作開始	・諸注意			
	・グルーガンや木工用ボンドを用いて作品を作る				
	・油性マジック等で色を塗ってもよい				
	・かべかけ工作は麻ひもとヒートンをつける				
	・マグネット工作はマグネットをつける				
	④鑑賞(お互いの作品を鑑賞する)				
	【片付】使用した用具と研修室の片付けを行う				
	【解散】研修生は引率者の指示に従う				
事後	【片付】貸出物品の返却、活動場所の清掃	【片付】貸出物品の受取			

引率者の役割	・研修者の安全管理を行う ・使用した研修室の後片付けの指導を行う ・用具の管理を行う
活動の留意点	・海浜に出る場合は、海浜出入口を使用する(砂を館内にあげないため) ・活動する際は、机に新聞紙を敷く ・グルーガンを使用時、やけどに気を付ける
「玄海の家」で準備できるもの	グルーガン(47)(グルーガンの芯は団体準備物)、ざる(8)、おろし金(20)
利用団体で準備するもの	石・貝・松ぼっくりなどの自然物(「玄海の家」の海浜、敷地内)、木工用ボンド、グルーガンの芯、新聞紙、紙テープ、油性マジック、チョーク、ビニール袋等の作成に使用するもの 「かべかけ工作」追加準備物: 杉板・コルクボード・写真立てなどを人数分 (必要に応じて麻ひも、ヒートンなど) 「マグネット工作」追加準備物: マグネット人数分